

近畿地方整備局
資 料 配 布

配布日時	平成15年9月26日 14時00分から
------	------------------------

件 名	平成15年度近畿地方整備局関係予算の配布（追加）について
-----	------------------------------

取り扱い	

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
	神戸海運記者クラブ、神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ所属で資料が必要な方は、「近畿地方整備局記者クラブの太田(06-6942-1141 内線 2811)」にお問い合わせ願います。

問 い 合 わ せ	近畿地方整備局	TEL:06-6942-1141
	総務部	会計課長 内海 (内線 2411)
	企画部	企画課長 西澤 (内線 3151)
	建政部	都市整備課長 新階 (内線 6161)
		住宅整備課長 林 (内線 6181)
	河川部	河川計画課長 久保田 (内線 3611)
	道路部	道路計画第一課長 池口 (内線 4211)

平成15年度近畿地方整備局関係予算の配分（追加）について

1. 配分方針

社会資本整備重点計画の策定を踏まえ、同計画に位置付けられる事業横断的で成果重視の重点目標を効率的に達成するための連携事業等のうち、特に重点的に実施すべきであり、年度内に進捗の加速が可能なものとして、一般公共予算及び調整費等を活用した「計画連携等推進措置」として、190億円（事業費）の追加配分を行う。

2. 配分総括表（事業費）

【施策別】

（単位：百万円）

区分	配分額		
	一般公共	調整費等	計
①京阪神をはじめとする近畿の都市の再生 （にぎわい近畿）	1,430	820	2,250
②近畿の活性化を支援する交通基盤等の整備 （産業活々近畿）	5,047	4,120	9,167
③安全で安心できる暮らしの実現 （セーフティ近畿）	5,442	850	6,292
④近畿の文化風土を活かした地域づくりの推進 （多文化共生近畿）	200		200
⑤美しい近畿の環境創造に向けた取り組み （エコ近畿）	1,130		1,130
合 計	13,249	5,790	19,039

【事業別】

（単位：百万円）

	直 轄		補 助		調整費等		総 計	
	うち一括配分	うち一括配分	うち一括配分	うち一括配分	直轄	補助	うち一括配分	うち一括配分
治 水	2,792	90	82	82	-	840	3,714	172
海 岸	200	-	-	-	-	-	200	-
道 路 整 備	3,051	321	147	47	1,000	1,450	5,648	368
街 路 等	-	-	2,347	1,647	-	2,500	4,847	1,647
港 湾	-	-	-	-	-	-	-	-
住 宅 対 策	-	-	450	385	-	-	450	385
市 街 地 整 備	-	-	750	750	-	-	750	750
下 水 道	-	-	2,330	530	-	-	2,330	530
都 市 公 園	-	-	1,100	-	-	-	1,100	-
（一般公共計）	6,043	411	7,206	3,441	1,000	4,790	19,039	3,852
官 庁 営 繕	-	-	-	-	-	-	-	-
（小 計）	6,043	411	7,206	3,441	1,000	4,790	19,039	3,852
空 港	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-
（合 計）	6,043	411	7,206	3,441	1,000	4,790	19,039	3,852

※ 調整費等とは、「国土総合開発事業調整費」及び「都市再生プロジェクト事業推進費」である。

3. 連携施策の代表事例

①京阪神をはじめとする近畿の都市の再生

・近畿の活力の源泉でもある都市について、その魅力と国際競争力を高め、近畿経済の浮上を図るという観点から、都市の再生に取り組みます。このため、交通結節点の改良など交通問題の解決、既成市街地の再生・再構築による魅力的な都市拠点や快適で美しい都市空間の形成のほか、みなとづくりとまちづくりの連携、水辺空間の活性化等まちづくりと一体となった川づくりなどを行い、都市基盤の整備を総合的に展開します。

■淀川左岸線は、「都市再生プロジェクト（第2次）」で大阪都市環状道路として位置付けられ、一体的に整備するスーパー堤防整備事業と積極的に推進することとしています。当該地区の淀川堤防は、人口資産等の集積した大阪市内を破堤による洪水被害から防御する必要がある、緊急的にスーパー堤防と淀川左岸線を一体構造として連携して進めます。

《連携事業》

- ・河川事業 : 淀川高規格堤防事業
 H15当初事業費 8,496 百万円 推進措置 200 百万円
- ・道路事業 : 阪神高速道路 淀川左岸線

■「都市再生プロジェクト（第3次）」にも選定されている『尼崎21世紀の森構想』に基づき、尼崎中央緑地公園事業と港湾緑地事業が連携し、豊かな自然環境の中でレクリエーション、スポーツを通した健康づくりや、人々が楽しく遊び、ふれあうことのできる交流の森づくりを進めます。

《連携事業》

- ・公園事業 : 尼崎の森中央緑地
 H15当初事業費 590 百万円 推進措置 1,100 百万円
- ・港湾事業 : 尼崎西宮芦屋港環境整備事業
 H15当初事業費 858 百万円

■渋滞緩和のためのバイパス改良や鉄道の立体化等、道路事業、河川事業及び土地区画整理事業が連携して、加古川市中心市街地への交通アクセスの向上を図るなど、加古川市中心市街地の活性化を支援していきます。

《連携事業》

- ・道路事業 : 一般国道2号線 加古川バイパスリニューアル
 H15当初事業費 1,000 百万円 推進措置 30 百万円
- ・河川事業 : JR加古川橋梁改築事業
 H15当初事業費 1,296 百万円
- ・土地区画整理事業: 加古川駅北土地区画整理事業
 H15当初事業費 368 百万円

②近畿の活性化を支援する交通基盤等の整備

- ・経済・社会のグローバル化の進展に対応しつつ、近畿の魅力を活かした地域の活性化を支援するため、各種高速ネットワーク等の交通基盤の整備等を進めます。

■神戸ポートアイランド（第2期）及び神戸空港へのアクセス手段として、神戸新交通ポートアイランド線の延伸・複線化を行い、街路事業、港湾事業及び空港事業が連携して、新たな高速交通基盤の整備を進めます。

《連携事業》

- ・街路事業 : 神戸新交通ポートアイランド線延伸
H15当初事業費 5,000 百万円 推進措置 2,500 百万円
(調整費等)
- ・港湾事業 : 神戸新交通ポートアイランド線複線化
H15当初事業費 400 百万円
- ・空港事業 : 神戸空港整備事業
H15当初事業費 2,560 百万円

③安全で安心できる暮らしの実現

- ・近年頻発している都市水害や阪神・淡路大震災の教訓を生かし、さらに今後想定される南海・東南海地震沖地震に備えるためにも、災害に強く安全なまちづくりを進めます。また、生活空間のあらゆる場面でのバリアフリー化や高齢者の居住基盤の確立、少子化対策など誰もが安心して暮らせる社会の構築を目指します。

■寝屋川流域の保水・遊水機能の低下による浸水被害の多発に対処するため、河川管理者、下水道管理者及び流域対策事業者等が連携し、総合的な治水対策を推進することとしており、寝屋川流域の治水対策をより一層推進するため、寝屋川南部地下河川、大東中央調整池、宝町調整池の河川整備と大阪市の雨水対策に係る下水道整備に推進措置を充当し、当該流域の治水安全度の向上を図ります。

《連携事業》

- ・下水道事業 : 大阪市下水道雨水対策施設整備事業及び寝屋川南部流域下水道雨水対策施設整備事業
H15当初事業費 2,400 百万円 推進措置 1,800 百万円
- ・河川事業 : 寝屋川総合治水対策特定河川事業（治水調整池の整備及び寝屋川南部地下河川）
H15当初事業費 4,850 百万円 推進措置 750 百万円
(調整費等)

⑤美しい近畿の環境創造に向けた取り組み

- ・豊かな自然を活用するとともに、様々な環境の保全を図り、これらと調和した美しい近畿の創出を図ります。また、加えてこれら個性豊かな各地域の特性を生かした地域づくりを目指します。

■揖保川では清流ルネッサンス21の実施により目標であった水質基準を満足するに至りましたが、当初想定していなかった支川林田川の水枯れとそれに伴う水質悪化が起こり、魚類等の水生生物の生息・生育の場、景観及び親水性を損ねています。これに対応するため、林田川では清流ルネッサンスⅡとして、河川管理者と下水道管理者が連携し、水環境の改善を図ることとしており、さらに事業進捗を図るため、林田川での多自然型浄化施設の設置と姫路市公共下水道の普及促進に推進措置を充当し、当該河川等水質改善を図ります。

《連携事業》

- ・河川事業：直轄河川環境整備事業（揖保川）（多自然型浄化施設）
H15当初事業費 60百万円 推進措置 90百万円
- ・下水道事業：姫路市・龍野市・揖保川町・太子町水質改善下水道事業
H15当初事業費 2,410百万円 推進措置 40百万円